

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）				
地区名	にかい 二回地区				
事業箇所	じんのしんでんちよう 豊橋市神野新田町				
事業のあらまし	<p>本地区は豊橋市西部に位置し、明治時代に干潟を干拓して造成された神野新田の一部であり、稲作を主体とし、キャベツ等の畑作も盛んな地域を対象としている。</p> <p>農業生産基盤は戦前の耕地整理により整備されたが、用排兼用の開水路であり、水管理に多大な労力を要している。特に畑地かんがいは、井戸水をタンクに汲み、軽トラックで各ほ場に運んで散水かんがいをしており、多大な労力を要している。畑地帯の道路には側溝がなく、大雨時には冠水被害が生じている。また、排水路は老朽化が進んでおり、排水に支障をきたしている。</p> <p>このため、用排水施設等の整備を行うことで、担い手農家への農地集積を促進し、農業経営の改善・安定を図るものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>農業生産基盤の整備により、担い手農家への農地集積を促進し、農業経営の改善・安定化を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時(2014)	再評価時(2021)	変動要因の分析	
	事業期間	2015～2021	2015～2022	地元調整による延長	
	事業費(億円)	19.6	22.7		
	経費内訳	工事費	16.2	20.8	労務資材費の増 (2014年単価→2021年単価)
		用補費	0.6	0.6	
		その他	2.8	1.3	
事業内容	用水路工 19.4km 揚水機場 2箇所 排水路工 6.3km 農道工 1.3km 客土工 3.0ha	用水路工 19.4km 揚水機場 1箇所 排水路工 6.3km 農道工 1.1km 客土工 2.8ha			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>水路の一部は用排兼用の開水路であり、畑地かんがい施設が無い場合、水管理に多大な労力を要しており、経営規模拡大の支障となっている。排水路は各所で老朽化が進んでおり、農道も舗装の老朽化が著しい区間が見られ、農作物への被害が危惧される。また、畑地帯に水田が介在しており、効率的な営農の支障となっている。</p> <p>今後、担い手農家が将来にわたって地域の農業を支えることができるよう、農業生産基盤を整備し、農地集積を促進する必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>現時点で本事業による整備が未着手の排水路及び農道は、依然として老朽化による排水不良等に苦慮しており、農業生産基盤の整備をする必要がある。</p> <p>また、担い手農家の営農意欲は高く、農地の「受け手」と「出し手」との間で賃借の話合いが進められており、担い手農家による農地集積の気運は高まっている。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>未着手の排水路及び農道の老朽化は改善されておらず、事業の必要性は依然として高い。担い手による農地集積の気運が高まっている。</p>			

	判定	<p>B</p> <p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適切ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																																																																																													
		<p>【理由】</p> <p>排水路及び農道の老朽化は改善されておらず、地域農業を支える担い手に農地集積を進める必要があるため、事業の必要性は事前評価時と同等である。</p>																																																																																																																																																													
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種区分</td> <td>用水路工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水路工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農道工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>客土工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19.0</td> <td></td> <td></td> <td>0.6</td> <td></td> <td>19.6</td> </tr> <tr> <td>実績②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19.0</td> <td></td> <td></td> <td>3.7</td> <td></td> <td>22.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>当初計画</th> <th>実績</th> <th>達成率(%)</th> <th>今回計画</th> <th>達成率(%)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>②÷①</th> <th>③</th> <th>②÷③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用水路工(km)</td> <td>19.4</td> <td>18.2</td> <td>93.8</td> <td>19.4</td> <td>93.8</td> </tr> <tr> <td>排水路工(km)</td> <td>6.3</td> <td>3.5</td> <td>55.6</td> <td>6.3</td> <td>55.6</td> </tr> <tr> <td>農道工(km)</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> <td>69.2</td> <td>1.1</td> <td>81.8</td> </tr> <tr> <td>客土工(ha)</td> <td>2.8</td> <td>2.6</td> <td>92.9</td> <td>2.8</td> <td>92.9</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>19.6</td> <td>19.0</td> <td>96.9</td> <td>22.7</td> <td>83.7</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>16.2</td> <td>17.8</td> <td>109.9</td> <td>20.8</td> <td>85.6</td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>0.6</td> <td>0.5</td> <td>83.3</td> <td>0.6</td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.8</td> <td>0.7</td> <td>25.0</td> <td>1.3</td> <td>53.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路 L=18.2 km ・排水路 L=3.5 km ・農道 L=0.9 km ・客土工 2.6 ha <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】</p> <p>該当なし。</p>			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計	工種区分	用水路工		←						→		排水路工		←						→		農道工					←			→		客土工		←						→		調査・設計	←							→		事業費(億円)	当初計画①				19.0			0.6		19.6	実績②				19.0					19.0	今回計画③				19.0			3.7		22.7		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		当初計画	実績	達成率(%)	今回計画	達成率(%)	①	②	②÷①	③	②÷③	用水路工(km)	19.4	18.2	93.8	19.4	93.8	排水路工(km)	6.3	3.5	55.6	6.3	55.6	農道工(km)	1.3	0.9	69.2	1.1	81.8	客土工(ha)	2.8	2.6	92.9	2.8	92.9	事業費(億円)	19.6	19.0	96.9	22.7	83.7	工事費	16.2	17.8	109.9	20.8	85.6	用地補償費	0.6	0.5	83.3	0.6	83.3	その他	2.8	0.7	25.0	1.3	53.8
			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計																																																																																																																																																				
工種区分	用水路工		←						→																																																																																																																																																						
	排水路工		←						→																																																																																																																																																						
	農道工					←			→																																																																																																																																																						
	客土工		←						→																																																																																																																																																						
	調査・設計	←							→																																																																																																																																																						
事業費(億円)	当初計画①				19.0			0.6		19.6																																																																																																																																																					
	実績②				19.0					19.0																																																																																																																																																					
	今回計画③				19.0			3.7		22.7																																																																																																																																																					
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																											
	当初計画	実績	達成率(%)	今回計画	達成率(%)																																																																																																																																																										
	①	②	②÷①	③	②÷③																																																																																																																																																										
用水路工(km)	19.4	18.2	93.8	19.4	93.8																																																																																																																																																										
排水路工(km)	6.3	3.5	55.6	6.3	55.6																																																																																																																																																										
農道工(km)	1.3	0.9	69.2	1.1	81.8																																																																																																																																																										
客土工(ha)	2.8	2.6	92.9	2.8	92.9																																																																																																																																																										
事業費(億円)	19.6	19.0	96.9	22.7	83.7																																																																																																																																																										
工事費	16.2	17.8	109.9	20.8	85.6																																																																																																																																																										
用地補償費	0.6	0.5	83.3	0.6	83.3																																																																																																																																																										
その他	2.8	0.7	25.0	1.3	53.8																																																																																																																																																										
2) 未着手又は長期化の	<p>地元から用水管の配管計画について変更の要望があり、その調整に不測の時間を要したため。</p>																																																																																																																																																														

理由		
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 特になし。</p> <p>【今後の見込み】 今後、予算確保に努めながら事業の進捗を図り、予定工期内の完了が見込まれる。</p>	
判定	<p>B</p>	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
		<p>【理由】 事業期間を延長したことにより、ほぼ計画通りの完成が見込まれるため。</p>

1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】
事前評価時からの土地利用の大きな変化はない。

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】

区 分		事前評価時 (基準年:2014)	再評価時 (基準年:2021)	備 考
費用 (億円)	当該事業による費用	15.4	—	
	その他費用 (関連事業費+資産評価額+再整備費)	28.6	—	
	合計 (C)	44.0	—	
効果 (億円)	作物生産効果	29.8	—	
	品質向上効果	5.1	—	
	営農経費削減効果	3.8	—	
	維持管理費節減効果	-4.4	—	
	営農に係る走行経費削減効果	3.7	—	
	災害防止効果（公共資産）	34.6	—	
	合計 (B)	72.6	—	
	水稲作付面積	53.3	50.7	2.6ha 減
	普通畑作付面積	36.6	39.2	2.6ha 増
費用対効果分析結果 (B/C)		1.6	—	変更なし

※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したもの。

※費用対効果分析については、愛知県公共事業評価実施要領細則により、原則として、事前評価時と比べ、その要因が3割を超えて変化している場合、または費用対効果分析結果が1未満になる恐れがある場合に実施するとされており、今回の評価では算定していない。

注) その他費用の内訳

①当該施設

再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格

②当該施設と一体的に効用を発揮する関連施設(幹線用水路等)

新規整備費+再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格

※評価期間:48年(当該事業の工事期間8年+40年)

【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】

「新たな土地改良の効果算定マニュアル」(2007年9月 農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修)に基づき算定。

【変動要因の分析】

費用対効果分析の算定基礎となった要因に大きな変動はない。

2) 貨幣価値化困難な効果の変化

【事前評価時の状況】

該当なし。

【再評価時の状況】

変化なし。

【変動要因の分析】

変化なし。

判定	A	<p>A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
	【理由】	概ね計画通りの完成が見込まれるため。
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地利用集積面積、集積率 ・営農状況 		
V 事業評価監視委員会の意見		
二回地区の対応方針（案）[事業継続] を了承する。		
VI 対応方針		
事業継続		